



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	株式会社 ハマネツ 静岡工場 (中央棟)	BEE	0.8	BEEランク	B-
				★	★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	/5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	1.6	/5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5		ふつう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.7	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点,スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

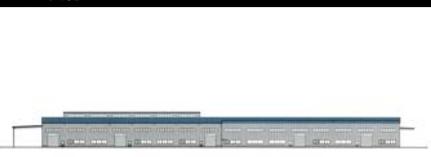
3. 重点項目についての環境配慮概要					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。			内訳対応項目		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)			得点	3.1	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①対象外 ②対象外 ③対象外 ④鉄骨造 保有体力計算による ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑤敷地内の緑地面積を20%以上確保した ⑥緑地の緑が敷地周囲に連続するような外構植栽計画を行った ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦対象外 ⑧対象外 ⑨LED照明の採用。 ⑩エネルギー消費に関する取り組みはなし ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪雨水及び雑排水の利用はなし ⑫新規のため既存建物等の利用はなし、又リサイクル材の使用もなし ⑬有害物質・消火材・断熱材は対象外、ODPなしの冷媒を使用 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭対象外 ⑮温熱環境悪化の改善への対策はなし 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能			
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	昼光利用設備			
	3.2 3.2.1 ③	昼光制御			
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数			
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔			
2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				
2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔				
2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔				
2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔				
Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出				
3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上				
LR-1 1 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制				
2 ⑧	自然エネルギー利用				
3 ⑨	設備システムの高効率化				
4 4.1 ⑩	モニタリング				
4.2 ⑩	運用管理体制				
LR-2 1 1.1 ⑪	節水				
1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無				
1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無				
2 2.1 2.1.1 ⑫	材料使用量の削減				
2.1.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用				
2.1.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
2.1.4 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
2.1.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材				
2.1.6 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み				
3 3.1 ⑬	有害物質を含まない材料の使用				
3.2 3.2.1 ⑬	消火剤				
3.2.2 ⑬	断熱材				
3.2.3 ⑬	冷媒				
LR-3 1 ⑭	地球温暖化への配慮				
2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善				
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)			得点	1.6	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯建築基準法に定められた耐震性能 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性			
	2.1.2 ⑯	免震・制振性能			
	2.4 2.4.1 ⑰	空調・換気設備			
	2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備			
	2.4.3 ⑰	電気設備			
	2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法			
	2.4.5 ⑰	通信・情報設備			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)			得点	3.0	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑱対象外 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ㉑地域性・アメニティへの配慮に関する取り組みなし 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画			
	3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり			
	3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ			
Q-3 3 3.1 ⑳	地域性への配慮、快適性の向上				
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)			得点	1.7	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ㉑敷地周囲への緑地配置を20%以上の確保 ㉒上記に同様 ■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ㉓温熱環境悪化の改善への対策はなし 	Q-3 1 ⑳	生物環境の保全と創出			
	2 ㉑	まちなみ景観への配慮			
	3 3.2 ㉒	敷地内温熱環境の向上			
LR-3 2 2.2 ㉓	温熱環境悪化の改善				

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 ハマネツ 静岡工場 (中央棟)	階数	地上1F
建設地	静岡県袋井市諸井 3490 他44筆	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(区分非設定)、法第1種工業地域	平均居住人員	XX人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年7月7日
敷地面積	27,032 m ²	作成者	米山 素文
建築面積	9,456 m ²	確認日	2020年7月7日
延床面積	9,182 m ²	確認者	米山 素文

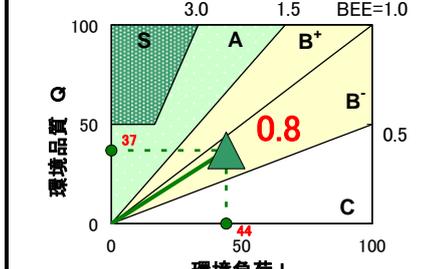


図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

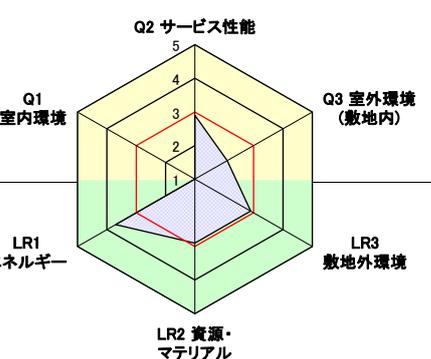
②建築物の取組み: 71%

③上記+②以外のオンサイト手法: 71%

④上記+オフサイト手法: 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

機能性: N.A. 耐用性・信頼性: 2.3 対応性・更新性: 3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

生物環境: 1.0 まちなみ・景観: 3.0 地域性・アメニティ: 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の熱負荷: 2.0 自然エネルギー: 3.0 設備システム効率化: 5.0 効率的運用: 2.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

水資源保護: 3.0 非再生材料の使用削減: 2.4 汚染物質回避: 4.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化への配慮: 4.0 地域環境への配慮: 2.6 周辺環境への配慮: 2.1

3 設計上の配慮事項		
総合 CASBEE静岡2016年版による評価結果		その他 0
Q1 室内環境 工場用途のため対象外	Q2 サービス性能 耐震性・耐用年数等については法令基準以上を確保している。又、設備の配管・配線は殆どが露出の為、更新・修繕は容易に可能	Q3 室外環境(敷地内) 棟分散により隣接地から敷地内への風の通りを確保。又、工場立地法に従い20%以上の緑化を行う
LR1 エネルギー LED照明により効率化を図り建築物省エネ法の基準を満たしている。又、一部を除き風の通りの向上により空調設備は設けずエネルギー消費を減らす。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料の使用	LR3 敷地外環境 調整池の設置により敷地内の雨水流出抑制を実地。主要幹線道路からの通常における出入りは無し。廃棄物は専用のスペースを設け分別・廃棄を計画的に行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい